

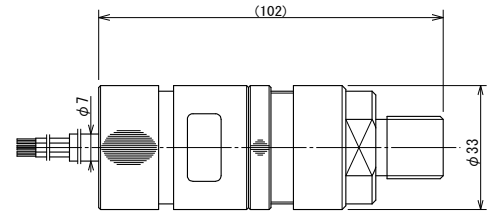
取扱説明書

真空スイッチ ベロース形 CVL

■仕様

項目 型式	圧力設定範囲		切段差 (kPa)	電気容量	最大使用圧力 (kPa)
	上限設定値 (kPa)	設定精度 %			
CVL	-100 ~ -3	±2kPa (±2%Max. P)	約3.0	5A-125VAC 4A-30VDC	100

■外形寸法



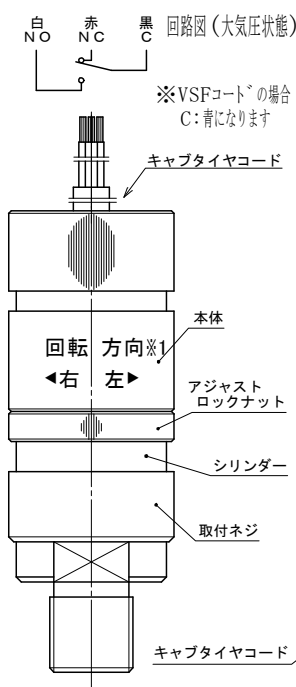
■取付時の注意事項

1. 圧力スイッチの取付ネジには適切なガスケット、シール材等を取付けて確実に締め込んで下さい。
2. 取付の際は必ずネジ上部の面取り部にスパナを掛けて締め付けて下さい。
3. コードは強い力で捻ったり引っ張らないで下さい。機器に取付使用される場合は、コードの長さに余裕をもって設置して下さい。
4. 構造上、圧力の設定作業で本体を回転させるとコードに振れが生じますので配線の固定は設定後に行ってください。
5. 圧力設定後は、[本体]を[アジャストロックナット]で必ず固定して下さい。
6. 圧力スイッチへの圧力導入は、徐々に昇圧して下さい。特に初めて圧力をかける際は安全を確認しながら徐々に実施して下さい。

■使用時の注意事項

1. 使用温度は-15℃～70℃(60%rh以下)の範囲でお使い下さい。
2. 圧力スイッチには最大使用圧力以上の圧力をかけないで下さい。
3. 圧力スイッチには使用するマイクロスイッチの定格を超える負荷をかけないで下さい。
4. 圧力スイッチ内での凍結及び結露は避けて下さい。
5. 防水・防滴構造ではございませんので水分の浸入にはご注意ください。
6. 圧力スイッチへの振動は避けて下さい。振動が大きいと誤作動の原因となりますのでご注意ください。
7. 圧力媒体に脈動(圧力が短時間に繰り返し変化する)がある場合は、誤作動の原因となるばかりでなくスイッチの寿命を縮めます。
8. 媒体内に切り粉等の異物があると圧力スイッチのセンサー部のベロースに悪影響を及ぼしリーク又は作動不良の原因となります。尚、圧力導入口より棒等を差し込んでの作動確認は、絶対に避けて下さい。
9. 加水分解等により腐食性を生じる圧力媒体もありますのでご注意ください。

■設定圧力の調整方法



1. アジャストロックナットを緩めます。
2. 本体を右回転させる。—— 設定圧力が低くなります。[高真空方向]
3. 本体を左回転させる。—— 設定圧力が高くなります。[大気圧方向]
4. ご希望の設定圧力で作動することを確認し、アジャストロックナットを締め付けて本体を固定します。
5. 締め付け後は、再度設定圧力をご確認下さい。

用語 設定した圧力[設定値]は電気接点が開又は閉となる圧力値を示します。
真空スイッチは大気圧を[0]として高真空になる方向で作動する値を[上限設定値]、
[0]に戻る方向で作動する値を[下限設定値]といいます。



株式会社 山陽計器製作所

本社 〒140-0013 東京都品川区南大井6-11-9-201
TEL03-3765-7481(代表)
FAX03-3768-1930

下松工場 〒744-0075 山口県下松市瑞穂町2-4-20
TEL0833-43-4527
FAX0833-43-4528

e_mail sks@sanyokeiki.co.jp

URL http://www.sanyokeiki.co.jp

※1回転方向はコードのある方から下向きに見て時計回りを右、
反時計回りを左としています。

2023.10.20